

議 事 録

会議名	一般社団法人東京学芸大学附属小金井中学校同窓会 第9回理事会		
No.	No. 9	文責	関俊夫
開催日時	平成 25 年 6 月 2 日 (日) 15:00~18:00	開催場所	ALBERT
出席者 【敬称略・数字は期】	野村 (1)、黒川 (5)、丸山 (7)、立花 (13)、荒井 (15)、関 (18)、岸田 (18)、柳本 (18)、中谷 (18)、中久保 (18)、川田 (20)、北島 (20)、山川 (23)、神田 (25)、宮下 (25)、湊 (30)、丸森 (30)、野久尾 (30)、根本 (30)		
会議の目的	1. 責任ある同窓会会計の在り方について 2. 活動報告関係について (議決案件) 3. 定期乾物の具体化検討について 4. 70 周年記念事業立ち上げについて 5. 組織の活性化について 6. その他		
内容			
<p>1. 責任ある同窓会会計の在り方について</p> <p>①過去の不明瞭会計に対する対応について一発生経緯/現時点での調査状況/今後の対応</p> <p>湊副理事長より、同氏作成の「調査報告書と資料」(別添)に基づき説明があった。また野村常任顧問より、同氏作成の「高橋隆男君についての調査報告その一」に基づき説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 高橋氏は、1990年から97年にかけて当時同窓会会計の責任者であったにもかかわらず、凡そ「400万円」に当たる同窓会の資金を私的流用した。 ■ 高橋氏の現住所と思われる場所を探したが有益な情報は得られなかった。 ■ 今後とも継続して高橋氏の所在は追及していく。 ■ 当時同窓会の役職者には当該事象に関する刑事責任・民事責任は無いと考えられるが、流用事実を隠蔽していたこと、継続して返済を求める対応を怠っていたことに関する道義的責任は考えられる。 ■ 1997年に発覚後、同窓会各期の代表(40名、主に母校卒業時の学級委員から成る)を集め、高橋氏が無断で多額の同窓会資金を使い込み、返済が適切になされていないことの説明をされた。この会合では「母校及び同窓会の恥ともなるので公表を控える」となった。 ■ これ以降当該事象に関する引継ぎ等を行われていない。 <p>これを受けて議論が行われた、詳細は別添「発言メモ」参照のこと</p> <p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 高橋さんへの弁済交渉 野村顧問、丸山理事長、湊副理事長により、(最近明らかになった住所に)高橋氏を訪ね、直接高橋氏に本件の弁済を求めていく。 ■ 関係者へのヒヤリング調査 荒井副理事長、立花理事、柳本理事、野久尾理事、根本理事をメンバーとし、事実関係を可能な限りさらに詳しく調査し、また本件に係わった方々との面談を通じて、同窓会として取るべき対応について理事会にできるだけ早い機会に答申することとなった。 ■ 6月22日に開催される常任幹事会に本件を報告する。 ・決算に対する監事報告の中で本件に触れる 			

・年間の活動予定の中で、明朗会計委員会的なものを立ち上げたと一行入れる

②同窓会会計の透明性確保と監査体制の確立について

経費明細書・通帳明細・収支表を会計担当から監査担当に適宜提示することで会計を透明化することが承認された。

2. 活動報告関係（議決案件）

① 平成 24 年度、貸借対照表、収支計算書等の内容確認

●65周年記念DVD等の保有在庫分を貸借対照表等でどう表記するかさらに検討することとなった。

② 平成 25 年度収支予算書について

●新HP改造費を20万円から60万円に変更することが了承された。

●わかたけ会寄付の金額（30万円）に対して構成比も高いので見直したらどうかとの意見が出された

③ 平成 24 年度活動報告書記載の内容が了承された。

④ 平成 25 年度活動予定書について（当該資料は常任幹事会資料ではない）

●HP委員会は解散したので、山川専務理事から「HP委員長」の肩書きを外すことが了承された。

●理事会（H25.6.2）と常任幹事会（H25.6.22）に日付けを修正することが了承された。

3. 定期刊行物の具体化検討

① 同窓会定期刊行物を発行することの是非

寄付金収集の手段としての機能、パソコンを駆使できない一部の年倍の同窓生や体感した先生方への配慮として定期刊行物発行の是非が議論された。

② 定期刊行物を発行するとすれば、さらに下記の観点からの検討が求められる

・定期刊行物の内容について—HPのダイジェスト版（配布資料A）とするか、会報とするか（参考資料：広報わかたけ）

・発行の頻度について一年/半期/四半期

・その他（初回の発行時期、郵送先、会報の印刷代金と郵送切手代金の費用目処等）

③ 上記を議論したが下記会報実行委員で検討することが了承された。

●会報担当実行委員（敬称略） 丸山、立花、荒井、川田

4. 70周年記念事業立ち上げ

①実行委員会立ち上げ（委員長選任と委員選定）

記念事業の選定、母校との連携等、実行委員会を立ち上げて推進していくことが決議された。

5. 組織の活性化

① 各理事の担当業務の棚卸

財務・組織・会報・企画・学校連絡などの業務について、各業務の優先順位付けと基本方針の明確化を図るとともに、これら優先順位付けと基本方針の共有を推進する。

また、現在空席となっている各期幹事の穴を埋める努力を継続する。

6. その他

・石井先生（23期・母校副校長）の文部科学大臣賞受賞のお祝いに、同窓会から花束を

贈呈する。

- ・ 来年は新年会をやる
- ・ 年に 2 回の理事会以外に、臨時理事会やメーリングリストを活用し、理事会の運営方針を話し合う場を持つ。荒井副理事長が委員長として、これを担当する。

以上

次回までのアクションアイテム

No.	内容	担当	期限
1	高橋さんへの弁済交渉	湊、丸山、野村	可及的速やかに
2	調査委員会として答申作成（関係各者へのヒアリング調査実施等）	荒井、野久尾、根本、立花、柳本	可及的速やかに
3	DVD など在庫分の表記方法について検討する	丸森	6/22
4	活動報告関係の修正	関	6/22
5			
6			
次回開催日時	H25.6.22（土） 常任幹事会	開催場所	大学構内第2むさしのホール